

平成29年（2017）5月 入域観光客数概況

5月の観光客数は、74万600人
対前年（H28）同月比 +4万3,500人、+6.2%
～5月の過去最高更新、各月の過去最高を43ヶ月連続更新～

入域状況

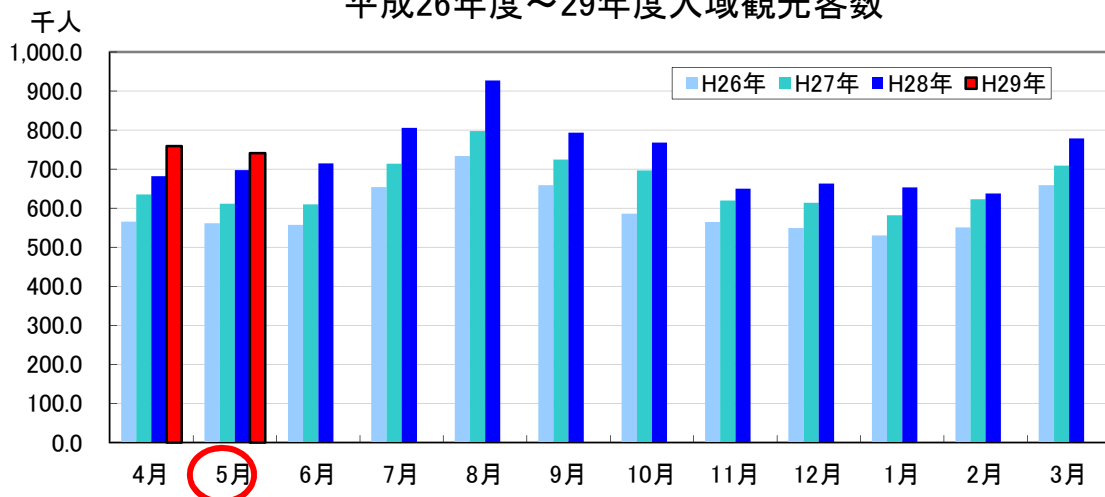
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	523,800 人	490,600 人	+ 33,200人	+ 6.8%	70.7%
外国客	216,800 人	206,500 人	+ 10,300人	+ 5.0%	29.3%
合計	740,600 人	697,100 人	+ 43,500人	+ 6.2%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	523,800 人	490,600 人	+ 33,200人	+ 6.8%	73.2%
外国客	192,000 人	170,400 人	+ 21,600人	+ 12.7%	26.8%
合計	715,800 人	661,000 人	+ 54,800人	+ 8.3%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良かったことで、旅行会社や航空会社の販売が良好で臨時便の運航もあったことや、前年の熊本地震で縮小した旅行需要が回復したこと等から、前年を上回った。

6月は、ANA名古屋－宮古直行便の新規就航による航空路線の拡充があることや、旅行会社や航空会社の予約状況が良好なこと等から好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

5月は、韓国の大型連休や中国の端午節休暇があったことや、前年同月と比べ航空路線数が拡充し、チャーター便の投入もあったこと等から、前年を上回った。

6月は、高雄－那覇路線の増便計画やクルーズ船の寄港回数の増加が見込まれること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	230,900 人	218,200 人	+ 12,700人	+ 5.8%	44.1%
関西方面	121,200 人	119,200 人	+ 2,000人	+ 1.7%	23.1%
福岡方面	66,400 人	58,200 人	+ 8,200人	+ 14.1%	12.7%
名古屋	43,600 人	40,600 人	+ 3,000人	+ 7.4%	8.3%
その他	61,700 人	54,400 人	+ 7,300人	+ 13.4%	11.8%
合計	523,800 人	490,600 人	+ 33,200人	+ 6.8%	100.0%

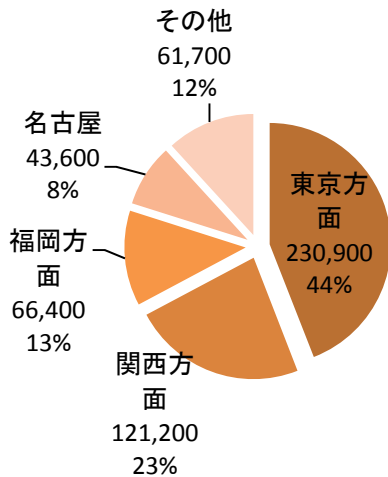
※国内海路客10,600人を含む(鹿児島3,200人、神戸2,800人、横浜2,300人、その他2,300人)

外国客 国籍別入域状況

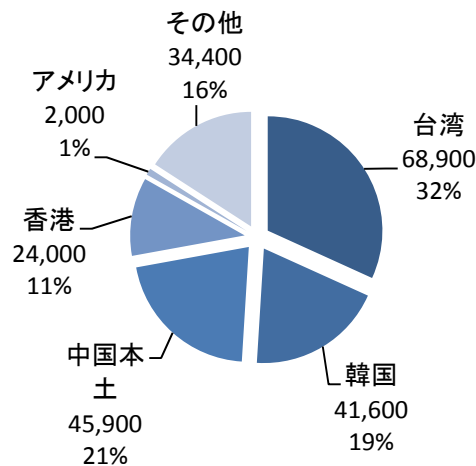
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	68,900 人	68,900 人	76,000 人	△ 7,100人	△9.3%	31.8%
韓国	41,600 人	41,600 人	27,700 人	+ 13,900人	+50.2%	19.2%
中国本土	45,900 人	45,900 人	37,900 人	+ 8,000人	+21.1%	21.2%
香港	24,000 人	24,000 人	19,500 人	+ 4,500人	+23.1%	11.1%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	1,800 人	+ 200人	+11.1%	0.9%
その他	34,400 人	9,600 人	43,600 人	△ 9,200人	△21.1%	15.9%
合計	216,800 人	192,000 人	206,500 人	+ 10,300人	+5.0%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	51,500 人	51,500 人	+31.0%	35.4%	17,400 人	17,400 人	△52.6%	24.3%
韓国	41,300 人	41,300 人	+49.6%	28.4%	300 人	300 人	+200.0%	0.4%
中国本土	22,300 人	22,300 人	+3.7%	15.3%	23,600 人	23,600 人	+43.9%	33.0%
香港	21,100 人	21,100 人	+22.0%	14.5%	2,900 人	2,900 人	+31.8%	4.1%
アメリカ	1,800 人	1,800 人	+38.5%	1.2%	200 人	200 人	△60.0%	0.3%
その他	7,300 人	7,200 人	+62.2%	5.0%	27,100 人	2,400 人	△30.7%	37.9%
合計	145,300 人	145,200 人	+30.3%	100.0%	71,500 人	46,800 人	△24.7%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良かったことで、旅行会社や航空会社の販売が良好で臨時便の運航もあったことや、ゴールデンウィーク以後の販売についても良好であったこと等から前年を上回った。

6月は、航空会社の先行割引航空券の販売や、旅行会社の予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

大阪

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良かったことで、旅行会社や航空会社の販売が良好で臨時便の運航もあったことや、スカイマークの増便により輸送実績が倍増したこと等から、前年を上回った。

6月は、旅行会社や航空会社の予約状況が概ね良好なことや、提供座席数の増加が見込まれること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良かったことで、旅行会社や航空会社の販売が良好であったことや、前年の熊本地震による旅行取消が多数発生した反動等から、前年を上回った。

6月は、航空会社の予約状況や、旅行会社の団体旅行の取扱いが良好なこと等から好調に推移する見込み。

名古屋

5月は、ゴールデンウィークの日並びが良かったことで、旅行会社や航空会社の販売が良好であったことや、スカイマークの増便により輸送実績が増加したこと等から前年を上回った。

6月は、ANA名古屋－宮古直行便の新規就航があることや、旅行商品の予約状況も良好なこと等から好調に推移する見込み。

台湾

5月は、航空路線について対前年同月比で増便で空路観光客は増加したものの、クルーズの寄港回数が減少したことで海路観光客数が減少し、全体で前年を下回った。

6月は、高雄－那覇路線の増便計画や、クルーズ船の寄港回数の増加が見込まれること等により好調に推移する見込み。

韓国

5月は、韓国国内の大型連休があったことや、各航空会社が那覇空港にチャーター便を投入したこと等から、前年を上回った。

6月は、6/5(月)を休むと殉国兵の日(6/6)と絡めて4連休となり、海外旅行の需要増が期待されることや、近距離旅行の人気の高い傾向があること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

5月は、端午節休暇(5/28～30)があったことや、前年同月と比べ航空路線数が拡充したこと等から、前年を上回った。

6月は、航空会社の予約状況が良好なことや、卒業旅行シーズンがスタートし旅行需要が見込めること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

5月は、前年同月と比べ航空路線数が拡充したことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

6月は、航空会社の予約状況が良好なことや、卒業旅行シーズンがスタートし旅行需要が見込めること等から、堅調に推移する見込み。

香港

5月は、航空路線の増便に加え、ゲンティンドリーム号による那覇と宮古島への寄港等から、前年を上回った。

6月は、大型クルーズ船の寄港に加え、インセンティブツアーによるチャーター便の就航があること等から堅調に推移する見込み。